



日曜新聞
昭和十一年三月十一日
第五二五二號
發行所 大阪府大阪市東區
本紙の代價 毎部一圓
廣告料 別表参照
電話 東區一〇二五
郵便 第三三三三番
新刊 大阪府新聞

座講識常
パラーは客間又は談話室のこと。パラーと云ふが意味は同じ。向居間或は食堂又は客間を別にパラーとも云ふがパラーは旅行用自動車の一セダン型の大きな物もそう云

平、小名濱兩町の都市計畫區域告示

昨日内務省から發表
委員會の決定通り

平町の都市計畫は着々進捗既に都計區域たる近隣諸村に對し正式な合併交渉を開始してゐるが三月福島に於て開かれた第一回地方委員會に於て内務省への答申案を決定した平町及び小名濱兩町の都市計畫區域は二十四日都市計畫法第二條第二項により内務省から都市計畫區域として正式決定告示された、告示された兩町の都市計畫區域は委員會案通りで

平町都市計畫區域
▲飯野村（大字北土谷川）
▲飯野村（大字御座 御台境小島）
▲好間村（大字下好間 今新事となつた）

小名濱都市計畫區域
▲田川中子（愛谷）
▲平窪村（大字下平窪 中窪）
▲四波 森の内（飯岡 大窪）
▲神谷村（大字 飯岡 飯岡）
▲小名濱町都市計畫區域
▲泉村（飯岡）
▲玉川村（南富岡 大原 岡小名）
▲江名町（下上白）
以上都市計畫區域と決定告示す

平町市制調査會

三十日協議
平町では三十日午後一時から市制調査會を開き各部毎に調査の根本方針を決定愈々大平市實現への本格的活動に入る事となつた

活氣がなかつた平驛四月の貨物

前年同期に比して増収だが三月の成績とトントン
平驛に於ける今四月の貨物は花見期節の清酒やビールも割合に動かし昨年同様に比して減収ではないが活氣がなかつた未だ下旬成績が決まらず正確な数字は上げられないが發送上旬二〇九四噸（二〇四四）中旬一九六〇噸（一九四四）中旬一八八〇噸（一八八〇）の八千五百九十

片倉製糸の決算總會

今期は九分の配當か
九年度の生産高七萬八千斤
六萬圓の純益があつた
平町の片倉製糸では来る二十八日午後一時同社樓上に第七期決算の株主總會を開かれるが去る十三日重役會を開きたる同期成績は生産高七萬八千斤の純利益約六萬圓で資本金二百萬圓拂込金五萬圓（四分の一）四萬圓に對する九分位の配當らしく本期經營は糸價の動搖に相當の難業を見たことと云はれてゐる

一人の男を取巻く愛慾三ッ巴戰

毆られた妻仲裁人を告訴
小名濱村本通り料理店吉田屋小松力（露）の内縁の妻吉田ミツ（露）は二十五日平署に同町の名望家消防組組頭宮野靜翁、町會議員西丸猛の兩氏を相手取り暴行傷害の告訴を提起した告訴の理由は告訴人ミツは去年中から同家の女中に住み込んだが女將の眼を忍んで何時しか同家の主人と情を通ずる様になり遂に姦姦目下五ヶ月の身重であるが

小名濱海岸で老婆の投身自殺

數年來幾分精神に異狀
家人の熟睡中家出して決行
昨二十四日午前七時頃小名濱町古港地内海岸に死體數日を経過したと覺し考案の溺死體が漂着してゐたのを通行人が發見驚いて届出たので警察部補檢視の結果右は當時同町大字船引湯屋住酒巻キチ（六）の自殺死體と判明家人に引渡した原因はキチは

平署管下町村の春季清潔施行日割

昨日衛生主任會で決定
行日割
平署管下衛生主任會は二十四日平署會議室に開催協議の結果管下各町村は次の日割で春季清潔法を施行することになった

△五月一日好間△二日夏井
△五月二日小川△三日湯本、玉川
△五日飯野△四日高久、磐崎、江名
△五日飯野△五日飯野、小名濱
△六日神谷△七日鹿島、赤井
△八日澤渡△九日三坂△十一日平町東部△十二日平町西部、好間村小田原、内郷、村宮高坂△十八日内郷村御

小名町會明日招集

明日招集
小名濱町では二十六日午前十時から町會を招集小名川改修案その他を附議する即ち小名川の改修は工費七千九百圓を以て町會決議を請ふから下流延長百八十九間の改修並に堤防上を中三間半の自動車道路とする案で外道路寄附給水用堀井の増設の二案を協議の答

催着着手

平町の片倉で
片倉製糸會社では意よ春蠶の催着に着手したが本年の播立ては七萬グラムで早口は

兵事主任會

來月六日開催
平署管下兵事主任會は五月六日午前十時から平署會議室に於て開催動員事務その他に關する事務打合せ後永年勤続兵事主任の表彰式を舉行

拾遺歌中題詞の「さ」は

現今の湯本（三）町に懸く
（飯坂温泉元湯の鯖湖に強引、建碑せるは無稽、不當の極み）
孝徳帝、大化二年（一三〇）陸奥國歸還した。六、改新の勅を東西に發せ然らば此の時常陸國界は釜戸られ給ひし間もなき白雉四年川で、和名抄の菊多郡蒲津郷（一三三）に至り、石城郡はの南水であるのが知られよう

講演會

廿八日聚樂館で
平町の國防婦人分會では事業資金造成の爲め同町國防研究會、青年團、經國聯盟、在郷軍人分會の後援で来る二十八日午後六時半から聚樂館に滿蒙の映畫と講演會を開催されるが講演は滿鐵社の顧問澤田壯吉氏の「滿蒙を語る」映畫は左記の數巻である

大會開催

方面委員會主催の平町赤ちゃん大會は來月四日午後一時から田町藤田女學校で開くことになつた

赤ちゃん
且つ劉の名稱は、其の際、菊多とは呼ばなかつたであらう何故かといへば、菊多國郡は川下流瀧尻川口の右際）であ既に常陸國多珂郡に入り、彼つた。當所は南北戦亂時代にれの舊號は失つてゐたからである。
按ふに該の時代の之が刻は山道の白河セキに懸附して海邊陸奥國と汎呼し、否とされば昔菊多セキの遺名を尊重し菊多セキと訓唱したであらう而してセキの所在は、蒲津郷

農業

施肥餘談

13 農試本場内山生

陽の恩恵を味得し日光の有難さを熟知するものは反面天の怒り、太陽の不気嫌の恐ろしさを知るものである。日々太陽を崇拜するものこそ始めて陽の怒りを免かれ得よう。常日頃、吾々指導的地位にあるものが如何に口を酸くして當業者の怒りを買ふ程までに激辭を用ひて緊要の過用を戒めるに拘はらず、之れに對する嘲弄的言辭を以てする。

凶作を恐れて肥料を控へ目とするは愚の至りである。出来る限りの増産を行つて出来る限り増収を得て置けば五年に一回、十年に一回或は幾十年に一回の凶作は問題でない。と斯ふ云ふ不埒極まる答へを聞くこと再三ならずである。斯様なものこそ昨年の天の怒りを徹底的に受けてゐるものに多い。而かも自らの誤りを天に歸して且つ連年の反當一斗、二斗の増収を無意義に消費して凶作に對しての準備は全く無く卒先して政府の救済を懇求願望するものも亦斯る人々に多い。

これでは天に對し且つは又聖恩の厚きに對し奉り、罪万死に値すと云ふべきではあるまいか。常住の心懸け、平常の修練を完備して天恩を謝し日々の太陽の恵みを感謝しつゝ聖旨に報い奉らんと忠誠の念を忘れず耕作の道にいそしむこそ我れ等の責務であらう。農産物の販賣は一種の商取

引であるが耕作、栽培は正業ではない之れを企業と見て投機的野心を起す時にこそ天の怒りを買ふのである。

ガソリン

モビール油

日本株式會社

特約販賣

油問屋 関内油店

電話 16

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

支店 支那市駅前通

近代趣味
パラルン豊富陳列
にッルヤ
電話 一四〇



新いわき新聞社
印刷部

支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通
支店 支那市駅前通

油問屋 関内油店
電話 16

ガソリン
モビール油
日本株式會社
特約販賣

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

洋服は
高島屋
注文並に既製品
特製男女通學服! 特價提供
男子一年生用 紺サージ 三圓九〇錢より
女子用 小 紺サージ 一圓四〇錢より
男女防水 マント 一圓三〇錢より
高島屋洋服店

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九一

入院
應需
明雲堂眼科醫院
平町前 電話六六九番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電話六四一
内科 院長 醫學博士 石山謙二
小兒科 部長 醫學士 賀一忠
婦人科 部長 醫學博士 五十嵐雄二
外科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿科 部長 醫學士 山澤正
性病科 部長 醫學士 山澤正
衛生試驗所 部長 醫學士 山澤正
藥務局長 鈴木孝雄
事務局長 鈴木孝雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
病室完備! 入院隨意!

平町紺屋町
藤沼醫院
電話 五〇七番
車手貸
平町大町若松醫院

好評
たる各種優秀藥
カクレー (三十三日分)
スピロイン (定價 同)
平町五丁目角
特約販賣店 山野邊藥局

石炭
コークス
炭
水野石炭店
電話 二九九番

朝日
煙草
金成國雅
製造販賣
平町大町

安價で効果的な
天然加里肥
最も適應する作物!
製造販賣 金成國雅
平町大町